

SST 指導略案

1. 題材

「マス埋めパーフェクト」

2. ねらい

- ・ゲームを通して、それぞれのターゲットスキルを身に付ける。
- ・話の内容を思い浮かべながら聞く。

3. ターゲットスキルと本時でねらうスモールステップ

対象	ターゲットスキル	スモールステップ
	わからないことを質問できる	(32)先生や友達の話集中してきくことができる。 ①相手の方を向いて ②相手の目を見て ③最後まで聞く。
	悔しさや怒りを言葉で伝える	(32)先生や友達の話集中してきくことができる。 ①相手の方を向いて ②相手の目を見て ③最後まで聞く。

4. 本時の展開

	○活動	・留意点
ふりかえり	○学級や家庭のどのような場面で、学んだスキルを用いることができたかを話し合う。	・【褒める】ための活動です。 ・“ミッションカード”に記したスキルを使用した場面で、相手の反応がどのようなものであったかを想起させるようにする。
教示	○本時の活動でのねらいと各自のターゲットスキルを確認する。	・資料「聞くときは…」
モデリング	○話を聞くときの方法を知る。 ①相手の方を向いて ②相手の目を見て ③最後まで聞く。 ○1度、①～③の聞き方を練習する。	・①～③の順序で行うことで、失敗しにくいことに気づくことができるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 悪い例 ①がないと、相手から見た時に話を聞いているのかわからない。 ③がないと聞き漏らすかもしれない。 等 </div> ・取り組みにくい様子が見られるときは行動を細分化し1つずつ取り組むことができるようにする。 ・それぞれの良いところを認めながら進めるようにする。
リハーサル	○「マス埋めパーフェクト」を行う。 準備 ついたて（手元のみを隠すもの） ゲームシート（16 or 25マス）	・必要に応じて、聞き直し（もう1度言ってください）を促すようにする。
フィードバック	○それぞれの良かったところを振り返る。	・可能であれば児童にも発言させるようにする。
般化	○学んだスキルを次の1週間でどれぐらい使いたいか、目標を立てる。	

ゲームルール

- ①出題者の方を向き，目を見て，話を最後まで聞く。
- ②指示されたカードを指示された場所に置く。
- ③カードや置き場所が分からないときは質問をして教えてもらう。「もう 1 度言ってください」
- ④完成したシートでカードの置場所が正しいかどうかを確かめる。

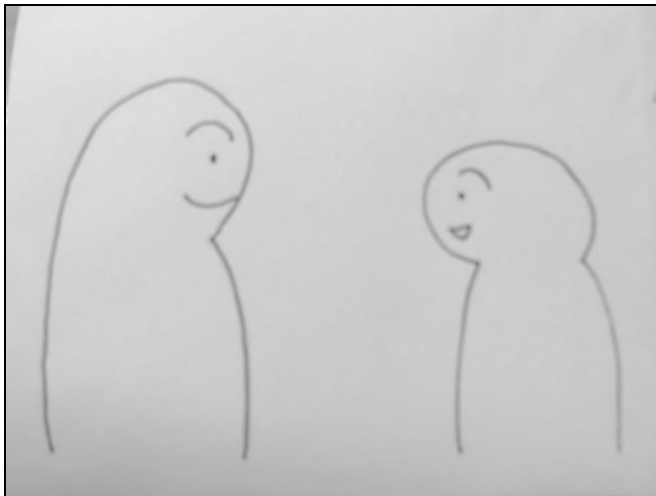
ゲーム難易度の工夫

- | | |
|-----------|--|
| A:カードの指示 | 3 ヒントで行う ⇔ カードの図柄をそのまま言う。 |
| B:置き場所の指示 | ○列，上から○マス目 ⇔ ○○の隣 ⇔ ○と○の間 等 |
| C:答え合せ | 模範解答の提示 ⇔ 児童同士のシートの確認 ⇔ 質問形式(○はどこにありますか) |
| D:その他 | 児童が相手に置き場所を指示する ⇔ カードの置場所入れ換え (○と○を交換) |

この活動で同時に育成が可能と思われるターゲットスキル

- (33) 先生の話や友達の発表の内容を理解できる。
- (38) わからないことは質問できる。 (「もう 1 度言ってください」)
- (39) 集団に向かって自分の考えを述べることができる。

話を聞くときは…



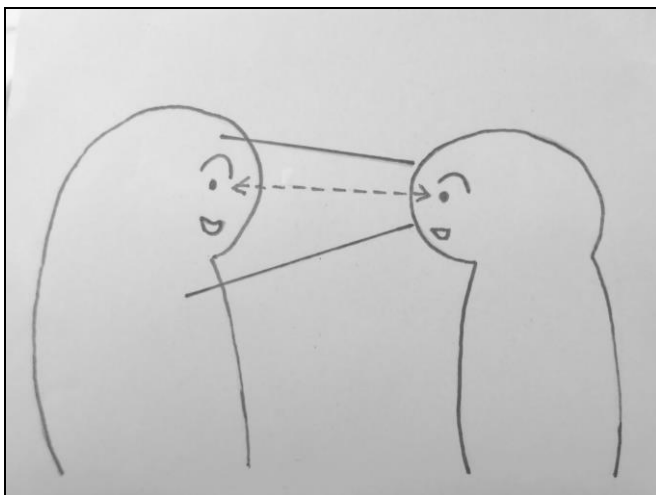
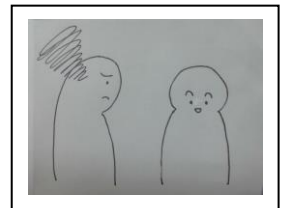
1

相手の方を向いて

その時していることは やめてから

相手の方を向かないと

相手はあなたが聞いている
かどうかわかりません。



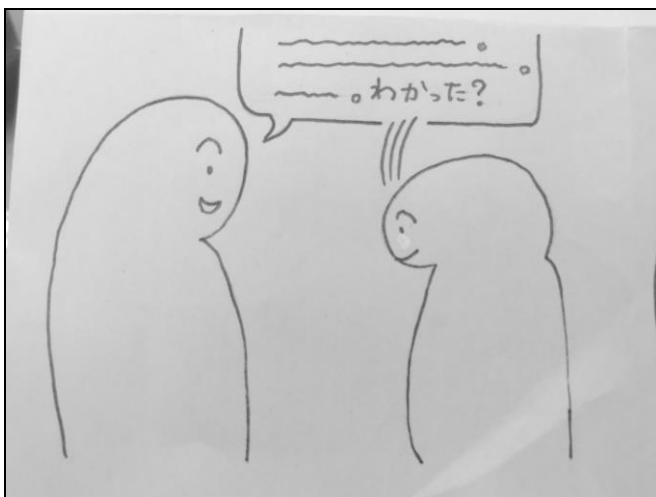
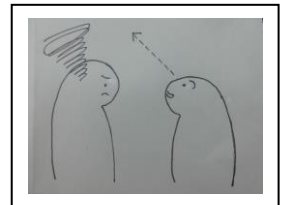
2

相手の目を見て

目を見るのが はずかしい時は
おでこや鼻、口のあたりを見ましょう

ちがうところを見ていると

相手はあなたが聞いている
かどうかわかりません。



3

最後まで聞きます。

返事をしたり，うなずいたりすると
バッチリです。

最後まで聞かないと

どうすればいいか 分からな
くなります。

